授業科目 フィジカルアセスメントPBLテュートリアル

【担当教員名】	対象学年	ı	対象学科	看護
本間千代子他	開講時期	通年	必修·選択	必修
	単位数	2	時間数	60

【<概要>又は<一般目標:GIO>】

看護に必要な情報を収集するための身体面、心理面、社会背景の観察技術とメカニズムを理解し人間の日常生活や健康状態を 評価するまでの過程を習得する

【<学習目標>又は<行動目標:SBO>】

- 1. バイタルサインの測定ができる
- 2. 看護面接の基本情報の聞き取りができる
- 3. 頭部・喉・眼・脳神経の基本的観察と情報収集ができる
- 4. 胸部・呼吸器系の観察と情報収集ができる
- 5. 腹部(生殖器を含む)の観察と情報収集ができる
- 6. 骨筋系・知覚・腱反射の観察と情報収集ができる

回数	授業計画又は学習の主題	SB0	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
	4週間を1ユニットとし6ユニットおこなう	# -7	オリエンテーション
	自己学習とグループによる学習、週1回テュータがついた授業を行いながら4週間		学生個人による自己学習
	を1ユニットとしたものを6つの課題を通年で6ユニット実施する		学生グループによる自己学習
		ļ	テュータが技術のモデルを示す
	PBLテュートリアル、オリエンテーションを受け、学習方法、学習計画、運営の仕方		技術演習
	を理解し実施していけるようにする		ビデオによる事前の自己学習
	1. パイタルサイン		 学生個人のグループへの
	2. 看護面接		プレゼンテーションを行う
	3. 頭部・眼・喉・脳神経		基礎看護学担当教員が中心にて行う
	4. 胸部 呼吸		長谷川隆雄
	5. 腹部(生殖器を含む)		阿部明美
	6. 骨筋系 知覚		石塚敏子 他
	上記6つの課題を実施し観察、情報の収集ができる		
	 自ら調べそれをメンバーに発表する、またメンバーの調べたものを理解する。		
	共同学習をすることで対人関係を良好に計ることが出来るようになる		

【使用図書】	<轡名>	<著者名>	<発行所>	> <発行年・価格・その他>
	「フィジカル・アセスメ	ント完全ガイド」藤崎郁	学習研究社 20	02 3900円+税
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	「フィジカル・アセスメ	ント」小野田千枝子監修	金原出版 2004	3800円+税
יבון כייישו	「フィジカルアセスメン	トガイドブック」山内豊	明 医学書院 20	06 2300円
その他の資料	系統看護学講座 専門基	礎 解剖生理学 医学	書院	

【評価方法】

【履修上の留意点】

出席参加は必須とテュータの評価 ユニット終了時の課題の提出で 50点 技術テスト20点 試験30点 主体的に調べ学ぶ学習です、小グループ学習のため積極的態度と出席は必須です、 メンバーの一員として力を発揮してください。